

～改定された査察官遵守プログラムの新たな検証ポイントとその対応策～

1名分料金で
2人目無料

FDA (CDER) による承認前査察 (PAI) への準備と対応

【LIVE配信】
【アーカイブ配信】

セミナーURL <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260809>

- ◆日時: 2026年8月10日(月) 10:30~16:30
- ◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可
【アーカイブ配信: 8/18~8/25(何度でも受講可能)】
- ◆聴講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
・1名でお申込みされた場合、1名につき**49,500円(税込)**
・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円(税込))**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 元 ノビオ コンサルティング合同会社 代表 立石 伸男 氏

<p>1 GMP査察に関わるFDAの組織と役割</p> <p>1-1 FDA新組織図(CBER, CDER, ORA/OII)</p> <p>1-2 ORAからOIIへ(コンプライアンス判断権限委譲の影響)</p> <p>1-3 CDER内の各部署の役割(OC/OPQ/OPMA)</p> <p>1-4 ORAとCDERの協力関係(Concept of Operation制度)</p> <p>2 FDA査察のタイプと違反に対する行政措置</p> <p>2-1 FDA査察のタイプ(承認前査察とサベイランス査察との相違)</p> <p>2-2 査察結果の分類(行政措置決定の判断規準)</p> <p>2-3 査察結果のレビューと最終判定の承認</p> <p>3 最近のFDA指摘事項の傾向</p> <p>3-1 W-LのGMP違反トップ10ランキング項目(2025, 2023FY)</p> <p>3-2 211.84違反への対策</p> <p>3-3 GMP違反事例(211.22, 211.160, 165, 166, 211.194)</p> <p>4 販売承認申請書の審査とPAI</p> <p>4-1 審査から査察までの関係機関(CDER)</p> <p>4-2 アセスメントの基準と対象物(申請書 vs 査察)</p> <p>4-3 CTDの構成と承認事項(ICH Q11)</p> <p>4-4 新規製品の製造所の評価基準(リスクベース査察)</p> <p>4-5 製造所の総合的評価(IQA)</p> <p>4-6 総合的な製造プロセスの評価</p> <p>4-7 製造に関するリスク分析と管理(KASAシステム)</p> <p>4-8 プロセスの開発の変遷(Q11)</p> <p>4-9 CQAに対する工程操作の影響</p> <p>4-10 管理戦略の全て</p> <p>4-11 FDA PVガイドライン(2011年改正)</p> <p>4-12 CPVプランの作成</p> <p>4-13 ライフサイクルマネジメント</p>	<p>4-14 申請書審査とPAI実施の流れ</p> <p>4-15 査察以外のアプローチ</p> <p>5 承認前査察の概要</p> <p>5-1 承認前査察の注目領域</p> <p>5-2 目的別遵守事項(商業生産の準備、申請書内容の遵守、データインテグリティ)</p> <p>5-3 無通告査察の影響</p> <p>5-4 PAIの結果判定</p> <p>5-5 PAIに於けるCDERとORAの協働</p> <p>5-6 PAIの対象外施設</p> <p>6 PAIに関する査察官コンプライアンスマニュアル(CPMG 7346.832)の改定</p> <p>6-1 主な改正点(リスクベースのPAI実施の判断強化)</p> <p>6-2 査察目的の強化(商業製造の準備性、申請内容との整合性、データインテグリティ、PQSと開発の質、OPMA/ORA/IQAの強化)</p> <p>6-3 検証ポイント(サプライヤー管理、変更管理、プロセスバリデーション、データインテグリティ)</p> <p>6-4 対策チェックリスト</p> <p>7 承認前査察(PAI) 指摘事項</p> <p>7-1 FDAによるPAI指摘事項(分野別)</p> <p>7-2 PAIにおける指摘事例(審査との共通事項と事例研究(知識管理、申請書との不整合、データの信頼性))</p> <p>7-3 指摘事例(QC、製造、プロセスバリデーション、Qualification、QA)</p> <p>7-4 承認の保留を推奨する結果となる不備事項</p> <p>7-5 PAIで成功するために</p> <p>7-6 コンサルタントの選択要件</p> <p>8 Quality Management Maturity (品質マネジメントシステムの成熟度)</p> <p>8-1 OPQ/OQSが準備する書類</p> <p>8-2 QMMの評価に関する情報とは</p> <p>8-3 QMM査察の状況と今後</p> <p>8-4 Quality Cultureとしてのインデックス</p>
--	---

【LIVE配信セミナーとは?】

- ・本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Web ブラウザから参加するかの2種類がございます。ZOOM WEBセミナーのはじめかた(<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
- ・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式(受講券、請求書、会場の地図)になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。
- ・お申込み後、接続テスト用のURL(<https://zoom.us/test>)から「ミーティングテストに参加」を押していただき動作確認をお願いします。
- ・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。
- ・セミナー資料は郵送にて前日までには、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- ・ご質問については、オープンにできるご質問をチャットにご記入ください。個別相談(他社に知られたくない)のご質問は後日メールにて講師と直接お願いします。

『FDA査察【WEBセミナー】』セミナー申込書 < ■LIVE ■アーカイブ > ※いずれかにチェックしてください

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。
セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>



株式会社 R & D 支援センター

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル7階
TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) <https://www.rdsc.co.jp/>